

だい き よこ はま し きょういく しん こう き ほん けい かく
第5期横浜市教育振興基本計画
そ あん がいようばん
素案 (やさしい概要版)

どうしてかな？



はしら
柱1・2

みんなの
「どうしてかな？」
「やってみよう！」
たいせつ まな
を大切にする学びを
じっげん
実現します！

やってみよう！



はしら
柱3・4

おとな
大人たちは、
あんしん
みんなの安心を
たいせつ
大切にします！



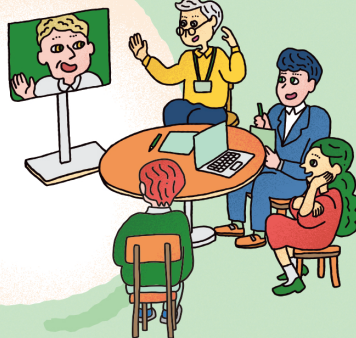
はしら
柱7

がっこう
学校だけでなく、
いろいろなところで
まな
学べるまちにします！



はしら
柱5

まな
みんなの学びのために、
せんせい
先生たちは
パワーアップします！



はしら
柱6

まな
みんなが学びやすい
がっこう かんきょう ととの
学校の環境を整えます！



よこはま きょういく そだ ひと
横浜の教育で育てようとしている人

みずか まな しゃかい みらい つく ひと
自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

(横浜教育ビジョン 2030)

こ ひとり みらい つく ひつよう
子ども一人ひとりが「未来」を創るために必要なこと

これから子どもたちが羽ばたく「未来」は、
せかい とすぐにつながる社会 × ちきゅう き ぼ かだい かいけつ しょうらい よそく しゃかい
世界とすぐにつながる社会 × 地球規模の課題を解決しなければならない、将来の予測ができない社会



たくましさ

きょうりょく ちから
協力する力

しなやかさ

この計画について

2018年、横浜市では、2030年頃のことを考えて、どのような教育をめざすのかをまとめました。これを「横浜教育ビジョン2030」と言います。ビジョンを実現するための計画が、「第5期横浜教育振興基本計画」です。（「5期計画」と言います。）

計画の期間は、2026年度から2029年度までです。

施策ごとに、「目標・方向」、「主な取組」、「主な目標の数字」を決めて、どこまですすんでいるかを確認します。

計画体系

柱	施策
1 すべての子どもの可能性を広げる学びをすすめます	1 子どもの「どうしてかな?」「やってみたい!」を大切にして、子どものもっている力を育てます 2 豊かな心を育てます 3 健康な体を育てます 4 子どもの状況に合わせた教育をすすめます 5 未来に向けた高校教育をすすめます 6 子ども一人ひとりの安心と挑戦を支え続ける環境をつくります
2 いっしょに未来をつくるグローバル人材を育てます	1 世界の人たちとコミュニケーションする力を育てます 2 自分の人生を主体的につくり、社会と未来をつくっていく人材を育てます
3 安心して学べる環境をつくります	1 一人ひとりの子どもを大切にして、安心して学べる環境をつくります
4 社会全体で子どもを支えます	1 子どもを支えるたくさんの人とつながります 2 福祉や医療などと協力して、子どもを支えます 3 家庭での教育を助けます
5 子どもたちの学びを支える先生	1 子どもたちの学びを支える先生を育て、先生の仕事の良いところを伝えます 2 先生の働き方をより良くします
6 学校の大きさや学校の建物をより良くします	1 みんながちょうどいい人数で学べる学校 2 学校の建物を新しくしたり使いやすくしたりします
7 市民の豊かな学び	1 ずっと学び続けられるようにします 2 市立図書館をより良くし、利用しやすくします

はしら
柱 1

すべての子どもの可能性を
広げる学びをすすめます

施策 1 子どもの「どうしてかな?」「やってみたい!」を大切にして、
子どものもっている力を育てます

目標・方向

デジタル技術を使って子ども一人ひとりの様子を知り、子どもの「どうしてかな?」「やってみたい!」を大切にして、子ども一人ひとりのもっている力を育てます。

主な取組

- 子どもの「どうしてかな?」「やってみたい!」を大切にする学びを実現します
- 子どもの「どうしてかな?」「やってみたい!」を大切にする授業を考えます
- 先生たちみんなで協力して授業をします
- デジタル技術や横浜のビッグデータをできるかぎり使います
- デジタル技術をずっと安全、安心に使えるようにします



主な目標の
数値

目標の数値	目指す数値 (2029年度)
「どうしてかな?」「やってみたい!」を大切にして学んでいる 子どもの割合	小 6 : 90% 中 3 : 90%

施策 2 豊かな心を育てます

目標・方向

子ども一人ひとりが自分の気持ちを知り、自分を大切に思い、自信をもって、将来を予測できない社会を
しなやかに歩んでいくことができる豊かな心を育てます。

主な取組

- 人が生まれながらにもつ権利を大切にする教育をすすめます
- 学校の教育活動全体で道徳教育をすすめます
- 心の健康教育をすすめます
- リアルな活動のなかで子どものもっている力を育てます
- 「ほんもの」に触れるきっかけをつくります



主な目標の
数値

目標の数値	目指す数値 (2029年度)
そのまの自分を認められる子どもの割合	小 6 : 85.0% 中 3 : 80.0%

し さ く けんこう からだ そだ 施策3 健康な 体 を育てます

もくひょう ほうこう 目標・方向

子ども一人ひとりが自分の健康と向き合い、自分の可能性をできるかぎり広げていけるように、心や体の健康を守ること、健康に生活できる健やかな体 を育てます。

おも とりくみ 主な取組

- 中学校の生徒みんなに給食を提供したり、子どもの成長に合わせた食育をすすめたりします
- 一生健康に、スポーツを楽しめるようにします
- 子どもと先生が続けられる部活動にします
- 健康についての教育をすすめます



おも もくひょう 主な目標の すうじ 数字

もくひょう すうじ 目標の数字	めざ すうち ねんど 目指す数値（2029年度）
体力、運動が得意かどうか、性別や障害があるかないかなどに関係なく、運動やスポーツを楽しくしたいと思う子どもの割合	90%

し さ く こ じょうきょう あ きょういく 施策4 子どもの 状 況 に合わせた教育をすすめます

もくひょう ほうこう 目標・方向

学校に行っていない子ども、生活が苦しい家庭の子ども、特別な助けが必要な子ども、日本語がわからない子どもなど、すべての子どもが、どんなときでも安心できる学びの環境をつくれます。

おも とりくみ 主な取組

- すべての子どもの多様な「今」を大切に、可能性を広げる学びをすすめます
- 学校に通う前や通っているときの相談などをより良くします
- 小・中学校、高校で特別支援教育をすすめます
- 子どもたちがいっしょに学べるようにします
- 学校に行っていない子どもの居場所を増やしたり、学びを助けたりします
- 日本語がわからない子どもの支援をします

- 特別支援学校を充実させます

- 生活が苦しい家庭の子どもを助けます



おも もくひょう 主な目標の すうじ 数字

もくひょう すうじ 目標の数字	めざ すうち ねんど 目指す数値（2029年度）
子ども一人ひとりの状況に合わせた計画と支援により、自分の子どもが成長していると感じている保護者の割合	95%

施策5 未来に向けた高校教育をすすめます

目標・方向

高校でも、横浜市ならではの小・中学校からの学びを続けられるように、それぞれの学校の取組をより良くして、これからの市立高校について考えます。

主な取組

- 未来に向けた高校教育をすすめます
- それぞれの学校の取組をより良くします
- グローバル教育やサイエンス教育をすすめます
- 一人ひとりを大切にする高校教育を実現します

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値（2029年度）
それぞれの学校の学びを良いと思う生徒の割合	90%



施策6 子ども一人ひとりの安心と挑戦を支え続ける環境をつくれます

目標・方向

子ども一人ひとりが豊かな可能性を開花できるように、入学や進級などの変化を受け止めて、安心した環境で挑戦できるような環境をつくれます。

主な取組

- 幼稚園・保育園・小学校が協力して、小学校に入ったときに困ることを少なくします
- 小学校から中学校、さらに高校までのつながりを大切に学べるようにします
- すべての子どもの可能性を広げる学びができるように考えます

施策1 世界の人たちとコミュニケーションする力を育てます

目標・方向

世界の人たちと出会っていっしょに新しいことに挑戦することができるように
新しいことに挑戦する勇気を育てます。さらに、英語などによるコミュニケーション力、話し合いをする力を育てます。

主な取組

- 英語教育を充実させます
- いろいろな国や文化について学びます

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値 (2029年度)
英語を使って聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして、自分の気持ちや考えを他の人と伝え合いたいと思う子どもの割合	小6 : 85% 中3 : 85%



施策2 自分の人生を主体的につくり、社会と未来をつくっていく人材を育てます

目標・方向

自分の人生を自分でつくり、社会との関係を考え、動き、
みんなといっしょに協力して未来をつくれる人を育てます。

主な取組

- 自分の人生を主体的につくり、社会と未来をつくっていく人材を育てます

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値 (2029年度)
地域や社会の問題を勉強しているときに自分たちで見つけて、答えを出すことができると思う子どもの割合	75.0%



はしら 柱 3

安心して学べる環境を
つくりま

施策 1 一人ひとりの子どもを大切に、安心して学べる環境をつくりま

目標・方向

いろいろな問題に気づいて、ていねいに対応し、子ども一人ひとりが安心して学べる環境をつくりま

主な取組

- 子どもの意見を大切に、安心できる環境をつくりま
- チームでしっかり対応しま
- デジタル技術を使って、子どもの SOS に早く気づいて対応しま
- 専門家や関係機関と協力して、安心できる環境をつくりま

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値（2029年度）	
学校が安心できる場所だと感じている子どもの割合	しょう小 6 : 87%	ちゅう中 3 : 87%



横浜子ども会議（区交流会）

はしら 柱 4

社会全体で子どもを 支えます

施策 1 子どもを支えるたくさんの人とつながります

目標・方向 子どもの学びや体験を増やし、地域を支える意識を育てるために、学校が社会とつながることで、子どもを守り、地域みんなで支えます。

- 主な取組**
- 学校と地域がつながり、協力します
 - 子どもの安全・安心を守ります

施策 2 福祉や医療などと協力して、子どもを支えます

目標・方向 福祉や医療などと協力して、子どもを守り支えます。

- 主な取組**
- 専門家といっしょにいていねいに対応します
 - 子どもが安全・安心に過ごせる居場所を守ります

施策 3 家庭での教育を助けます

目標・方向 保護者が安心して家庭での教育をできるように、家庭を孤立させず、子どもを守り支えます。

- 主な取組**
- 家庭での教育を、みんなでいっしょに支えます。

**主な目標の
数値**

目標の数値	目指す数値 (2029年度)
学校に通う年の子どもがいる家庭向けのイベントに参加して、保護者どうしがつながり、子育ての不安がへったと答えた人の割合	55%

はしら 柱 5

子どもたちの学びを支える先生

施策1 子どもたちの学びを支える先生を育て、先生の仕事の良いところを伝えます

目標・方向

子どもを支える先生を育て、先生がいきいきと働き、学び続けられる環境をつくれます。先生の仕事の良いところを広め、なりたい人を増やします。

主な取組

- 先生になりたい人を育てます
- 先生になりたい人を集めます
- 先生が学び続けられるようにします
- 先生の仕事の良いところを伝えます

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値 (2029年度)
横浜で教えることを良いと思い、働きがいをもっている1年目から3年目までの先生の割合	95%



施策2 先生の働き方をより良くします

目標・方向

先生の働き方を見直して時間と心のゆとりをつくり、先生が元気に子どもに向き合える環境を整えます。

主な取組

- 時間割などを見直して、時間と心のゆとりをつくります
- 学校以外の人を受け持つ仕事を整理します
- 先生以外の人に関わってもらう仕事を整理します
- 先生の負担を減らしたほうが良い仕事を整理します
- 学校の事務にデジタル技術を使います
- 先生が自分から新しいことに挑戦できるようにします

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値 (2029年度)
時間と心のゆとりができて、子どものもっている力を育てることができたと思う先生の割合	100%



はしら
柱 6

学校の大きさや学校の建物を
より良くします

施策 1 みんながちょうどいい人数で学べる学校

目標・方向

学校にいる子どもの数が多すぎたり、少なすぎたりしないようにするための計画を考えます。

主な取組

- みんなが勉強しやすい学校を用意するとともに、今までやってきたことを見直して、問題点や直すべきところを明らかにします



施策 2 学校の建物を新しくしたり使いやすくしたりします

目標・方向

学校を安全で使いやすくします。環境にやさしく、バリアフリーにして、地域の防災にも役に立つようにします。

主な取組

- 学校の建物を計画的により良くします
- 安全で安心な学校をつくります

目標の数字	目指す数値（2029年度）
建てかえたり、長く使えるようにしっかり直す学校の数	25校
トイレを洋式にした学校の割合	100%※1
体育館に空調をつけた学校の割合	100%※1
エレベーターを設置している学校の割合	90%※1
校舎のいちばん上の階の教室に、暑さや寒さをふせぐ工事をした学校の割合	100%※1

※1 建て替える学校等を除きます

はしら 柱 7

市民の豊かな学び

施策1 ずっと学び続けられるようにします

目標・方向

みんながずっと学び続けられるように、図書館や博物館などの学びの場を良くして、デジタル技術も使いながら、学ぶ体験をより充実させます。

主な取組

- いろいろな学びの場所やチャンスをふやします
- みんなが本を読むきかいをひろげます
- 文化財を守り、みんなが大切に使用したり、見たりできるようにします

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値（2029年度）
学びに関するオンラインの配信講座を見た回数	7,000回



施策2 市立図書館をより良くし、利用しやすくします

目標・方向

図書館をきれいにし、デジタル技術も使い、べんりで使いやすい図書館をめざします。

主な取組

- 市立図書館をより良くし、利用しやすくします

主な目標の数字

目標の数字	目指す数値（2029年度）
図書館を利用して満足した人の割合	80%

パブリックコメントの実施 ～みなさんの意見をきかせてください～

(1) 受付期間

2025年12月17日（水）～2026年1月19日（月）

(2) 計画の素案などを配る場所

- 市民情報センター（市庁舎3階） ○ 各区役所広報相談係 ○ 行政サービスコーナー ○ 横浜国立図書館
○ 教育委員会事務局教育政策推進課（市庁舎14階）

【ホームページから見ることができます。】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/plan/kyoikuplan/5th-kyoikuplan.html>



(3) 意見の送り方は4種類です。

● パソコン・スマートフォンなどから送る場合

右のコードをカメラで読み込むか、下のURLを開いて意見を書いてください。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/2d382e94-10fe-48a5-bad9-567168b57701/start>



● メールで送る場合

名前・住所と意見を書いて、メールの件名に【パブリックコメント】と入れて、下のアドレスに送ってください。

アドレス： ky-5keikaku@city.yokohama.lg.jp

● 紙に書いて、郵送する場合

名前・住所と意見を書いて送ってください。

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 横浜市教育委員会事務局 教育政策推進課 あて

● FAXで送る場合

名前・住所と意見を書いて送ってください。

FAXの番号：045-663-3118

※ 意見を正しく知るため、電話や話すだけの意見は受けません。

※ 名前や住所などの個人情報、個人情報保護法にしたがって、正しく管理します。この意見を集める業務だけに使います。

(4) パブリックコメントの結果と計画づくり

意見と横浜市の考えは、個人情報をのぞいて、横浜市のホームページで公表します。意見について、一人ひとりには答えません。誰が答えたかわかるものや、他の人が困るものは、公表しないことがあります。

第5期横浜市教育振興基本計画 素案（やさしい概要版）2025年12月発行

横浜市教育委員会事務局教育政策推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 tel 045-671-3243 fax 045-663-3118

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA